



「ゴルフ場の営業力強化と客単価UP」を実践する2つのキーワード

株式会社クリエート



営業部営業課
渡壁良生

アベノミクスと消費税率改正のアナウンス効果でしょうか、名門コースを中心に会員権相場が上昇し、来場者数もわずかながら上向いてきました。しかしこれでデフレが解消した訳ではなく、まだまだ低価格路線は続いています。どこのゴルフ場も低プレー料金による客単価の落ち込みでご苦労されています。

営業力を強化して客単価をUPさせるにはどんな方策があるのでしょうか。ニーズが多様化する昨今、客単価を必ず上げる万能薬はありません。色々な角度から可能性を見つけて、いくつも仮説を立てては実証出し、いくつも仮説を立てては実証

を繰り返す中から、わずかなヒットが生まれるものだと思います。そのためには「情報の活用」と「情報の発信」が大きなキーとなります。

一つ目のキーである「情報の活用」ですが、弊社のシステムにはアップセルやクロスセル、イールドマネジメント、RFM分析等の営業分析ツールを備えています。アップセルやクロスセルのための商品購買情報を例にとると、より単価の高いオーナーが通常枠の安売りを遅らせることができます。

最近では通信環境の向上に伴い、タブレットで顧客データベースを持ち歩き、客先で商談しながらのリアルタイム予約も重宝されています。その他の情報発信と言えば、ゴルフ場でお持ちのITツールの活用による差別化です。例えば、「GPSカードによるらくらくプレー」、「大型スクリーンによるリアルタイムコンペ成績表示」、「お客様自身による簡単タッチパネル予約」等。是非、ポスターやホームページ、メール、SNS等でのアピールを推奨します。

二つ目のキーは「情報の発信」です。デイリーワークで集めた価値ある顧客データベースに、情報を発信することによりそのリターンを期待します。ここでターゲットは「客単価の高いお客様」や「予約率の高いお客様」、「予約需要期にピンポイントで有益な情報を発信することにより、より質の高い集客が可能になります。

お客様が「予約率の高いお客様」や「予約率の高いお客様」、「予約率の高いお客様」として認識されるにはどうすればいいのでしょうか。まずは、通常枠の安売りを遅らせることが可能です。また、タブレットで顧客データベースを持ち歩き、客先で商談しながらのリアルタイム予約も重宝されています。その他の情報発信と言えば、ゴルフ場でお持ちのITツールの活用による差別化です。例えば、「GPSカードによるらくらくプレー」、「大型スクリーンによるリアルタイムコンペ成績表示」、「お客様自身による簡単タッチパネル予約」等。是非、ポスターやホームページ、メール、SNS等でのアピールを推奨します。

当社はゴルフ場専門のシステムベンダーとしておかげさまで創業から46周年目を迎えました。長年お客様と共に歩んで参りました経験とノ

ウハウから、「ビジネスとはいえ人対人」の精神で、今後も最適な提案をして参りたいと考えます。当社システムに少しでもご興味をお持ちの際は、いつでもお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

ビジネス は 人